

## 朝鮮半島問題と周辺国の関与

三村光弘

(環日本海経済研究所)

### 北朝鮮の非核化への動き

- 2016年9月19日トランプ大統領国連総会演説
  - 米国には大きな力と忍耐がありますが、しかし、もしそれが自国や同盟国を守ることを強制されるならば、我々は北朝鮮を完全に破壊するしかないでしょう。
- 2016年9月21日、金正恩国務委員長声明
  - トランプが何を考えていたとしても、それ以上の結果を目の当たりにすることになるだろう。米国の老いぼれ狂人を必ず、必ず、火で制するだろう。

## 北朝鮮の非核化への動き

- 2017年11月29日、朝鮮民主主義人民共和国政府声明
  - 大陸間弾道ロケット「火星-15」発射成功
  - 「国家核武力完成」
- 2017年12月19日、文在寅大統領が平昌冬季五輪とパラリンピック期間中の米韓合同軍事演習延期を米国に提案
- 2018年1月1日、金正恩「新年の辞」で平昌オリンピック参加表明

## 北朝鮮の非核化への動き

- 2018年1月4日、米韓首脳、五輪とパラリンピック期間中の米韓合同軍事演習見送りで合意→中朝が主張してきた「双暫停(ダブルフリーズ)」の部分的実現
- 2018年1月9日、南北閣僚級会談開催
- 2018年2月9日～25日、五輪、3月9日～18日パラリンピック
- 2018年3月26日 中朝首脳会談
- 2018年4月20日 朝鮮労働党中央委員会第7期第3回全員会議→並進路線終了、経済重視

## 北朝鮮の非核化への動き

- 2018年4月27日 第3回南北首脳会談(板門店宣言、非核化意思表示、年末までの終戦宣言実現)
- 2018年5月7日～8日 中朝首脳会談
- 2018年5月26日 第4回南北首脳会談
- 2018年6月12日 米朝首脳会談
- 2018年6月19日～20日 中朝首脳会談
- 2018年9月18日～20日 第5回南北首脳会談

## 北朝鮮の非核化意思は本当か？

- 北朝鮮の非核化への対価は何か
  - 「米国の敵」ではなく、「普通の発展途上国」としての成長ができる環境整備＝米国の経済制裁の解除による国際通貨基金、世界貿易機関、国際復興開発銀行、アジア開発銀行などへの参加
  - 北朝鮮の国際社会の一員としての「名誉ある地位」の回復→米朝国交正常化、日朝国交正常化、南北関係の安定
- 非核化を実現する上で重要なアクター
  - 最初は米国。徐々に周辺国(日中ロ蒙)の重要性が拡大

## 北朝鮮の非核化意思は本当か？

- 北朝鮮は党と国家の正式な路線として、核を放棄し、経済建設に注力することを決定
- 最高指導者である金正恩国務委員長の言葉で、米国、中国、韓国为首脳に対して非核化への意思を表明
  - 「やっている感」だけでよければ、低位の担当者にまかせればよい
  - 金正恩国務委員長の政治生命をかけた「賭け」

## 北朝鮮の非核化意思は本当か？

- 金正恩国務委員長の核放棄の最大の敵は国内でその理想をシェアできる人の少なさ
  - 正常な国家の建設と成長路線への移行
  - 「クールDPRK」の建設＝社会主義文明国建設
  - 社会主義と集団主義の堅持と、世界の最新科学技術と管理手法導入の共存
- 米国との深刻な相互不信が解決されなければ、非核化を進めることが難しい
  - 殺される恐怖(イラク、リビアなどの例)

## 第1回米朝首脳会談



## 米朝首脳会談後の記者会見 の衝撃

- トランプ大統領の私見
  - 朝鮮半島からの米軍撤退
  - 第1回会談の約束とはリンクしていない
- 駐韓米軍撤退の可能性が言語化
  - 韓国はすでにそのような可能性に対するリスクヘッジを開始
- 米韓が合意すれば、駐韓米軍(特に陸軍)は撤退する→在日米軍にも波及する可能性

## 米国の国内問題としての 北朝鮮核放棄のその後

- 朝鮮戦争の平和協定の代わりに終戦宣言を最初に主張したのは米国
  - しかし、朝鮮戦争の終了は、朝鮮半島における米国覇権の維持の根拠を失わせる
  - トランプ大統領と主流派の間の対立
- とはいえ、非核化合意が破綻し、北朝鮮が挑発を再開すれば戦争につながる
  - 最終的にはトランプ路線を追認せざるを得なくなる可能性が高い(特に中間選挙で両院勝利の場合)

## 陸軍士官学校卒業式に大統領として 初めて参加する文在寅氏



陸軍士官学校第74期卒業及び任官  
国民に忠誠、国家に献身



北東アジア人による北東アジア人の  
ための協力体制構築

- これまでは考えられなかった「米国のいない北東アジア」
- まだまだ初歩的なものだが、徐々に地域大国を中心とした協カメカニズムが可視化されてきている
- 2018年は北東アジアの地域内協カの可能性が

## 2018年東方経済フォーラム (ロシア・ウラジオストク)



(出所)東方経済フォーラムホームページ

## 第5回南北首脳会談





## 南北関係の安定

- 板門店宣言(2018.4.27)
  - 国と国の関係ではない統一を指向する特殊な関係(「一つの朝鮮」)から国家間関係を擬製した関係(事実上「二つの朝鮮」)へ
- 9月平壤共同宣言(2018.9.19)
  - 南北独自の軍事的緊張緩和措置＝事実上の終戦宣言→「戦後体制」の先取り
- 北朝鮮にとっての二大恐怖の一つが減少
  - 米国による攻撃、南による吸収合併

## 今後の課題

- 非核化の検証とその後
  - 米国、日本との関係改善
- 日朝国交正常化と経済協力の提供
  - 日本だけの単独事業よりも韓国、中国、ロシア、米国などとの密接な協力の下での事業実施
  - 各国が提供する支援との綿密なコーディネーション
- 北東アジアにおける新たな秩序生成のための努力